

みずしるべ

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所情報誌



2005
35

●今号の表紙

丸山ダム周辺の恵那市、御嵩町、八百津町の山間には江戸中期に開拓されたという棚田が今も残されています。平成15年には全国棚田サミットが恵那市で開催されました。『坂折棚田(恵那市)』と『上代田棚田(八百津町)』は日本の棚田百選にも選ばれています。

新丸山ダム発 ふるさと探訪 八百津町ノ巻

湊町・八百津で『いかだ』を再現



町有林の間伐材などを活用し集められたヒノキなどの木材は、乾燥、皮むきなど一ヶ月の準備期間をへて、木曾川へと運ばれました。木材の組み上げには、昔ながらに「藤づる」が用いられ、前後に「桿(かじ)」を、最後に「御用材」の旗印をつけ完成。今回再現されたいかだは全長12m、幅3mもの大きさでした。

※木曾ヒノキは伊勢神宮の建て替え(遷宮)などにも用いられていました。旗印はいわゆる「産材」と「良材」がはっきり区分できるように取り付けられていました。



今回、お話を伺った八百津町在住の滝上和美さん(右)、山内俊彦さん(中央)、土屋弘之さん(左)。現在、再現されたいかだは、『旧八百津発電所資料館』に移され、錦織網場の資料などと一緒一般公開されています。



旧八百津発電所資料館
八百津町八百津1770番地の1 TEL:0574-43-3687
【入館料】普通入館料/一般320円、小中学生110円
【開館時間】9:00~16:00(入場は15:30まで)
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス shinmaru@cbr.mlit.go.jp

再現されたいかだには、一般の方々も試乗することができました。(木曾川八百津橋付近にて)

今昔、といつても戦後の昭和25年頃まで、八百津町では木曾川上流で伐採されたヒノキなどの木材をいかだに組み、下流まで流して運ぶ「いかだ乗り」の姿を見ることができました。

緩やかな流れと材木を留める綱を張るのに都合のよい川幅だったことから、鎌倉時代より網場の町として栄えてきた八百津町。いかだを組むための藤づるを手配する人、いかだを組む人、いかだに乗る人など、分業されていたこの仕事には、八百津町内の350世帯もの人々が携わっていたといわれています。

「代々受け継がれてきた『いかだ』との関わりをそのまま自分たちの代で終わらせていいのか」「滝上さん、「八百津町の行く末が心配。この地域ならではの町おこしが必要なのは」「山内さん」という2つの「郷土を思う心」の出会いがいかだ再現のきっかけとなりました。

「丸山ダム建設の際に、湖底に沈むヒノキを伐り出していかだに組み、下流の製材所に送るといふ仕事を手伝ったことがある。そんな若い頃の記憶をたどって、いかだを再現できないかと考えました」。

しかし、いかだ再現の最大の「難所」は、木材集めにありました。

「あちこちから集めた木材は運搬にもまた、苦勞。地元業者にボランティアアでと相談したところ、快く引き受けてくれました」。

いかだ再現の取り組みは、総勢150名と多くの町民の協力と賛同を得て大きな高まりを見せることになりました。

「今年の夏には、小さないかだを何艘か製作し、その飾り付けやチームワークなどを競うイベントの開催を考えています」。

実は今度のいかだは「竹製」を予定しているのだとか。手入れをされないまま生い茂る河畔の「竹」を伐採、活用することで、河川景観も改善されていくという心憎い「仕掛け」がそこには隠されています。

錦織(にしこおり)網場
八百津生まれの60才以上の方には懐かしい故郷の風景です。



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でもお気軽にお問い合わせください。
0574-43-2780(代)

私たちも応援しています。
EXPO 2005 AICHI JAPAN 成功させよう 地球博
この情報誌は再生紙を使用しています。
2005.3

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼント!

抽選で5名様 使わないときは小さくたためてとっても便利な… ふわふわレジャーシート



広げると60cm×100cmになるよ。

●応募締め切りは平成17年9月30日消印有効です。当選者の発表は発送にかえさせていただきます。

新丸山ダムホームページ/みずしるベQ&A アドレス

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/12-qa.html/>

みずしるべのアンケートでみなさんから寄せられた質問とその回答は、国土交通省新丸山ダム工事事務所ホームページに掲載しています。上のアドレスにアクセスしてみてください。これからも、みなさんの質問にどんどんお答えしていきます。

郵便はがき

料金受取人払

八百津局 承認

34

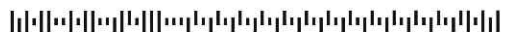
差出有効期間 平成17年9月30日まで (切手は必要ありません)

5 0 5 0 3 9 0

(受取人) 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

みずしるべ35号 アンケート係 行

氏名	性別	男・女
ペンネーム /	※ペンネームでの掲載を希望される方のみ	
住所	〒 -	
TEL ()	年齢	才
職業 (学校名)		



児童によるホタルの飼育・観察



飼育舎「ホタルの家」

中野方小学校では、児童によるホタルの飼育・観察のほか、“ふるさとの自然に親しみ、地域を知ることを通して、ふるさとに愛着のある子供を育てる”など、特色ある教育活動を行っています。



地元バイオリン製造工場があることから発想された『ホタル』と『音楽』のジョイント。コンサート帰りには、飼育舎『ホタルの家』でホタルが飛び交う姿を見ることができます。



ホタルの生息する『中野方川』での清掃活動。



●中野方ホタル保存活動へのお問い合わせ TEL.0573-23-2113 (中野方公民館)

ふれあいスペース FUREAI SPACE

豊かな自然を活かした「ホタルの里づくり」
ホタルの保存活動を核とした環境にやさしい町づくりを行う

中野方町ホタル保存活動

「子供からの情報発信は田舎ではとても重要なことです。子供の話にはお年寄りも耳を傾けますからね。学校で学んだことが家庭で広まる。ですから小学校は重要な活動拠点だと思います。」
地元の「中野方小学校」には、飼育舎「ホタルの家」と水路が作られ、毎年児童た

「子供からの情報発信は田舎ではとても重要なことです。子供の話にはお年寄りも耳を傾けますからね。学校で学んだことが家庭で広まる。ですから小学校は重要な活動拠点だと思います。」
地元の「中野方小学校」には、飼育舎「ホタルの家」と水路が作られ、毎年児童た

「子供からの情報発信は田舎ではとても重要なことです。子供の話にはお年寄りも耳を傾けますからね。学校で学んだことが家庭で広まる。ですから小学校は重要な活動拠点だと思います。」
地元の「中野方小学校」には、飼育舎「ホタルの家」と水路が作られ、毎年児童た

「子供からの情報発信は田舎ではとても重要なことです。子供の話にはお年寄りも耳を傾けますからね。学校で学んだことが家庭で広まる。ですから小学校は重要な活動拠点だと思います。」
地元の「中野方小学校」には、飼育舎「ホタルの家」と水路が作られ、毎年児童た



中野方川を飛び交うホタル
中野方川に生息するホタルは国内に生息するホタルの中では一番体長の大きい『ゲンジボタル』です。



●中野方ホタル保存活動へのお問い合わせ TEL.0573-23-2113 (中野方公民館)

新丸山ダム Now&new

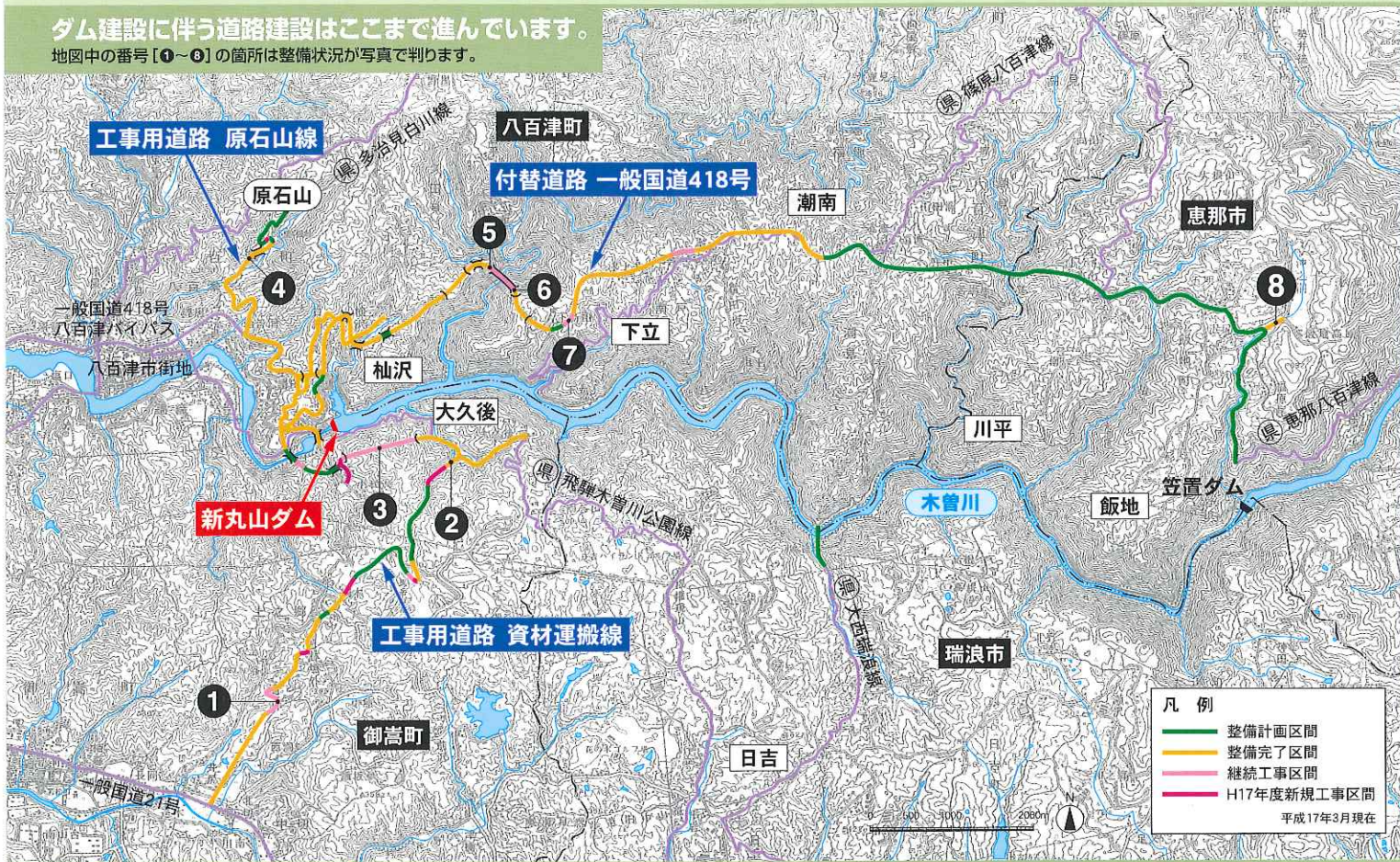
新丸山ダムのいろいろな最新情報を紹介します

平成17年度 事業概要 平成28年度の新丸山ダム完成を目指して

平成28年度の新丸山ダム完成に向けて事業を進めてまいります。今年度もご理解、ご協力をお願いいたします。

- 用地補償関係** 湛水用地並びに付替道路・工事用道路用地の取得及び漁業補償協議等を推進します。
- 工事関係** 付替道路（一般国道418号）及び工事用道路（資材運搬線・原石山線）の工事を継続して行います。
- 調査設計関係** ダム本体の施工計画等の設計検討及び事業に関する環境調査等を継続して行います。

ダム建設に伴う道路建設はここまで進んでいます。地図中の番号①～⑧の箇所は整備状況が写真で判ります。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平16部模、第298号)



① 資材運搬線 [御高町小原]



② 資材運搬線 [御高町大久後]



③ 資材運搬線・大久後トンネル [御高町大久後]



④ 原石山線 [八百津町峠]



⑤ 付替国道418号・新旅足橋 (右岸) [八百津町小洞]



⑥ 付替国道418号・新旅足橋 (左岸) [八百津町牛首]



⑦ 付替国道418号 [八百津町峯]



⑧ 市道沖之洞線 [恵那市沖之洞]

工事の進捗状況

本体着工までに付替国道418号の潮南以西の開通を目指し、工事を進めています。また、付替国道418号の潮南以東については、道路をつくるための具体的な設計に取りかかっています。ここでは平成17年度に引き続き行われる2つの大きな工事について紹介します。

県道飛騨木曾川公園線 大久後トンネル工事

新丸山ダムと一般国道21号を結び、ダム建設に必要な材料や機械を運搬するための工事用道路資材運搬線につくるトンネルで、新丸山ダム建設事業の中では一番長いトンネルです。平成15年から始めた工事は、平成16年10月に無事貫通。今年度は照明施設などの工事を完成させます。(現在の工事状況は左地図下の写真③をご覧ください)

「飛騨木曾川公園線トンネル」の正式名称が「大久後(おおくご)トンネル」に決定しました。大久後とはトンネル付近にあった旧村名です。銘板の書はトンネルのある御高町の柳川喜郎町長によるものです。トンネルの開通により御高町と八百津町の交流がさらに深まり地域活性化につながるようとの願いが込められています。

大久後トンネル

一般国道418号 新旅足橋下部工工事



新旅足橋完成予想図

旅足川をまたぐ全長400mを超える大きな橋の土台と橋脚をつくる工事です。約3年間にわたりすすめていきます。現在は、土の中で橋を支える基礎を建設

しています。今年度の後半には橋脚が上へと伸びてきます。(現在の工事状況は左地図下の写真⑤⑥をご覧ください)

新たな環境保全活動への取り組み

昨年度は、移植した植物の根付きの確認やエコロード（動物にやさしい道路）に設置した、動物が利用できるカルバートボックスや水路に進入した小動物がはい出せる側溝などの利用状況の確認とそれらの問題点などを整理しました。今後は、これらの結果に基づいて計画や手法を改善するとともに、工事現場内の表土を利用した法面緑化工法の導入や、地域のみなさんと一緒になった環境保全活動などの新たなメニューを取り入れながら、新丸山ダム建設による環境負荷の軽減に努めていきます。



小動物が脱出できるようにスロープを設置した側溝

ホームページでも工事進捗状況や環境保全活動について紹介しています。(ホームページアドレス) <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>

新丸山ダム環境マネジメントシステムを運用しています。

地球環境の保全は、今日では世界規模の問題として認識されています。平成17年2月には地球温暖化防止を目的として二酸化炭素など6つの温室効果ガスの排出削減義務などを定める京都議定書が発効され、その意識はますます高まっています。

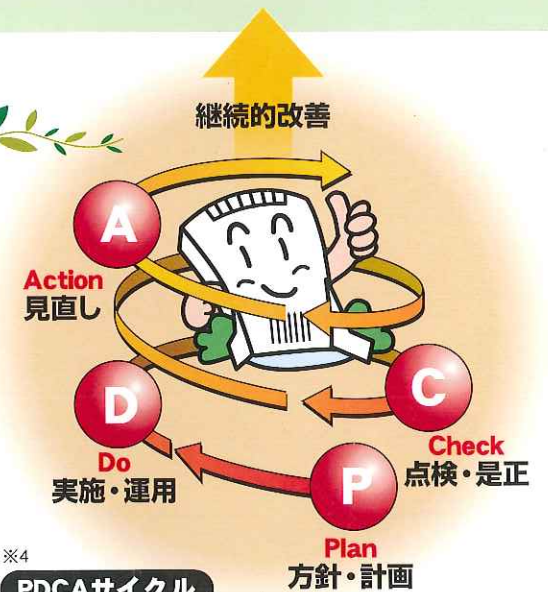
当事務所においても、エコロードの設置など、これまで環境保全に対するいくつかの取り組みを進めてきました。しかし、ダム建設事業が環境に与える影響を考えると、より効果的な保全活動を継続して実施していくことが求められています。このような背景から、平成16年11月26日より^{※1}ISO14001に沿った「新丸山ダム^{※2}環境マネジメントシステム(新丸山EMS)」の運用を始めました。

新丸山EMSでは、ダム建設事業における環境への負荷をさらに低減するために、節電や再生紙利用などの事務活動のみでなく、ダム建設にかかる業務や工事にまで取り組みの範囲を拡げています。したがって、^{※3}環境方針には「…、全ての事業活動を通じて環境負荷の低減を配慮し、…」とあり、さらに、計画・

設計段階、施工計画・施工段階のそれぞれの状況においてすべきことを明確にしています。また、地域のみなさんと交流を図ることも盛り込まれており、新丸山EMSをはじめとした環境への取り組みをみなさんに紹介するとともに、地域と一体となった環境保全活動を進めていきます。

これらの活動は、^{※4}PDCAサイクルを実行し新丸山EMSをより効果的なシステムに改善していくことで、継続的に向上させていくことができます。

なお、環境方針・基本理念は事務所玄関に掲げてあります。事務所を訪れた際は、ぜひ実際に確認してみてください。



※4

PDCAサイクル

方向・計画(PLAN)をたて、それを実施・運用(DO)し、その結果を点検・是正(CHECK)し、さらなる向上のための見直し(ACTION)を行うという一連の流れ。各頭文字を取ってPDCAサイクルと呼んでいます。

※1 ISO14001

事業活動などによって発生する環境への負荷を減らし、地球に優しい事業所であることを実証するための世界共通の規格

※2 環境マネジメントシステム

事業活動などを通じて環境に与える負荷を出来るだけ低減するように配慮した仕事の仕組みや手順

※3 環境方針

事業所の環境活動に関する姿勢や原則について示した宣言

第4回 丸山蘇水湖風土委員会開催 ～『丸山蘇水湖風土絵図』原図完成～



第4回委員会の様子

地域の風土特性と調和したダム施設づくりと地域づくりへの貢献を目指した風土マップの編集を進めてきた丸山蘇水湖風土委員会は、

平成17年2月22日に第4回の委員会を開催し、正式名称を『丸山蘇水湖風土絵図』とした原図を完成させました。これまでの委員会では、丸山ダムを囲む八百津町・御嵩町・瑞浪市(日吉)・恵那市(飯地)の2市2町の各委員が地域の風土資産を伝えるための地図づくりに熱意をもって取り組んできました。委員

の他にも聞き取り調査や分会での討論を重ね、その都度修正するという作業に協力していただきました。今後は、『丸山蘇水湖風土絵図』に記入された、様々な風土資産についての解説を冊子にまとめる作業を進め、最終的な完成を目指します。丸山ダム周辺地域には多くの伝説や史跡があり、そのなかには大変興味深いものもありました。みなさんご自分の地域の文化に触れてみてはいかがでしょうか？昔のことにこそ今では味わえない新鮮な驚きが秘められているのかもしれません。

の他にも聞き取り調査や分会での討論を重ね、その都度修正するという作業に協力していただきました。

今後は、『丸山蘇水湖風土絵図』に記入された、様々な風土資産についての解説を冊子にまとめる作業を進め、最終的な完成を目指します。

丸山ダム周辺地域には多くの伝説や史跡があり、そのなかには大変興味深いものもありました。みなさんご自分の地域の文化に触れてみてはいかがでしょうか？昔のことにこそ今では味わえない新鮮な驚きが秘められているのかもしれません。



今回、原図の完成した『丸山蘇水湖風土絵図』

読者のページ みなさんから寄せいただいたお便りを紹介しています

しんまるカルチャー倶楽部

川柳 ダムや川に関する川柳を募集しています。前回のお題は『湖(こ、みずうみ)』でした。

絵画 しんまるくんの似顔絵、ダムや川に関するイラストなど楽しい作品をまっています。



曾我 ゆり乃さん(恵那市)

ダム湖まで烈整いて一直線 島田紗代子さん(兼山町)	みずうみは四季を写すかがみなり 山田まなみさん(御嵩町)	大好きな弟と見たいきれいな湖 林珠蘭さん(恵那市)	湖が似合わぬ年に残念!! ペンネームおばさん侍さん(御嵩町)	湖の水面はいつもおだやかに 小栗房江さん(瑞浪市)
------------------------------	---------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

●今号のお題は『雨(う、あめ)』です。
“雨(う、あめ)”の文字を入れてがどんな川柳が創られるのか楽しみにしています。

INFORMATION

掲載させていただいた方全員に「新丸山ダムオリジナルグッズ」を差し上げます。

今回の募集締切は平成17年9月30日
次号みずしるべの発行は10月を予定しています。

ふるってご応募ください。編集スタッフ一同楽しみにしています。

ペンネームでの掲載を希望される方は、当広報誌に付いているアンケートハガキの氏名欄に、ペンネームを必ずご記入ください。

おしゃべりBOX

みなさんから寄せいただいたご意見やご質問などを紹介しています。

私は現在の丸山ダム建設工事に参加したものです。最初に手掛けたダムでした。上流の一次[※]締切工事が大変懐かしく、水深5～6mのところ、体積15～20m³の大転石が沈んでいました。どんな工法を採用するかに苦慮しました。今でも忘れられない思い出の一つです。

愛知県名古屋市/男性(77才)

※締切工事
ダムを建設するスペースを確保するために、川の流をさえぎる工事。ダムをつくるための工法や機械なども少なく、現場の環境は今では想像もつかないほど厳しい状況だったことと思います。当時のことを想像すると丸山ダムは、まさに人の手によってできたダムだと感じます。

ダム不要論が叫ばれる中、治水目的のみならず、環境への配慮、住民との合意形成がどのように進んでいるかを示して欲しい。

愛知県美和町/男性(49才)

新丸山ダムは木曾川の治水、大変重要なダムです。これまで以上に地域のみなさんに対して、その必要性をご説明し、さらなる理解を得られるよう努めてまいります。

アンケート調査にご協力ください。

新丸山ダム建設事業、情報誌みずしるべについてみなさんのお意見をお聞かせください。いただいた貴重なご意見は、今後の事業推進や広報活動、みずしるべの編集等に役立てます。

●回答は下の「アンケート回答用紙」で記入のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

質問項目

今回掲載した内容に興味があるかどうかそれぞれお答えください。

A 新丸山ダムNow & New

1. 平成17年度事業概要 [1.ある/2.ない]
2. 工事の進捗状況【県道飛騨木曾川公園線 大久後トンネル】... [1.ある/2.ない]
3. 工事の進捗状況【一般国道418号 新旅足橋下部工工事】... [1.ある/2.ない]
4. 新たな環境保全対策への取り組み [1.ある/2.ない]
5. 新丸山ダム環境マネジメントシステムの適用 [1.ある/2.ない]

B しんまるホットライン

1. 第4回 丸山蘇水湖風土委員会開催 [1.ある/2.ない]
2. しんまるカルチャークラブ【川柳】 [1.ある/2.ない]
3. しんまるカルチャークラブ【絵画】 [1.ある/2.ない]
4. おしゃべりBOX [1.ある/2.ない]

C ふれあいスペース

1. 中野方町ホテル保存活動 [1.ある/2.ない]

D 新丸山ダム発 ふるさと探訪

1. 湊町・八百津で「いかだ」を再現 [1.ある/2.ない]

E 表紙イラスト

1. 棚田のある風景 [1.ある/2.ない]

みずしるべ35 アンケート回答用紙

●該当する数字に○を付けてお答えください。

- A-1 [1.ある/2.ない] B-1 [1.ある/2.ない] C-1 [1.ある/2.ない]
 A-2 [1.ある/2.ない] B-2 [1.ある/2.ない] D-1 [1.ある/2.ない]
 A-3 [1.ある/2.ない] B-3 [1.ある/2.ない] E-1 [1.ある/2.ない]
 A-4 [1.ある/2.ない] B-4 [1.ある/2.ない]
 A-5 [1.ある/2.ない]

ご協力ありがとうございました。

おしゃべりBOX・しんまるカルチャー倶楽部(絵画・川柳)

応募スペース

●新丸山ダム建設に対するご意見、ご質問などもお待ちしております。